



《福浜展望所からの眺めⅠ》熊本 2023年 作家蔵

アーティスト・イン・レジデンスつなぎ 2023 成果展

石垣克子

海・島・山 ちつづきの暮らし

アートで考える
沖縄と津奈木・水俣

12月2日開幕

【展覧会の趣旨】

在日米軍専用施設・区域の約7割が集中するという沖縄。一部では土地の返還が進み新たな街が造られるなど、米軍基地を巡る風景は刻一刻と変化しています。新たな風景が生まれつつあるなか、確かに存在する基地のある日常を画家として記録し人々の記憶に留めるため、石垣克子が2018年に描き始めた風景画が、シリーズ「基地のある風景」です。沖縄の基地を巡る問題が住民を分断してきたように、津奈木町を含む水俣病の被害地域では原因企業がもたらした経済的恩恵と健康被害が住民を分断してきたとも言われています。8月から約3か月間、「アーティスト・イン・レジデンスつなぎ2023」の招聘作家として津奈木町に滞在しながら制作に臨んだ画家・石垣克子の目と心に津奈木町や近隣地域の日常はどのように映ったのでしょうか。本展では、シリーズ「基地のある風景」と津奈木町滞在中に制作した作品によって、日常とそこに人の手によって生じる異質な存在の関係をあらわにするとともに、絵画の現代アートとしての可能性を問うています。



《嘉数高台公園からの眺めⅣ》沖縄 2020年 佐喜真美術館蔵

【アーティストプロフィール】

石垣克子（いしがきかつこ） 画家

1967年沖縄県石垣市生まれ。幼少期に沖縄本島へ移住。沖縄県立芸術大学美術工芸学部美術学科絵画専攻卒業。その後は大学等に非常勤講師として勤めながら沖縄を拠点に制作を続けている。「六本木クロッシング2022」（森美術館）にも出品。



【展覧会名】アーティスト・イン・レジデンスつなぎ 2023 成果展 石垣克子 海・島・山 ちつづきの暮らし

【展覧会期】2023年12月2日（土）～2024年2月12日（月・祝）

【展覧会場】つなぎ美術館 1・3階展示室

【展示物】シリーズ「基地のある風景」の油彩画20点 滞在中に津奈木町や近隣地域を描いた油彩画31点 計51点

【アーティストトーク】日時：12月2日（土）14:00～14:30 会場：1・3階展示室 参加費：観覧料

定員：20名（申込不要・当日先着順）

【記念対談】天野太郎（東京オペラシティアートギャラリーチーフキュレーター）×石垣克子

日時：12月3日（日）14:00～15:00 会場：1階展示室 参加費：観覧料 定員：30名（申込不要・当日先着順）

【主催】つなぎ美術館（津奈木町）

【協力】佐喜真美術館 南西医療器株式会社

【助成】一般財団法人自治総合センター

【観覧料】一般500円 高校・大学生400円 小・中学生300円

【観覧時間】10:00～17:00（入館は16:30まで）

【休館日】水曜日（祝日の場合は翌平日）

【問い合わせ先】つなぎ美術館 熊本県葦北郡津奈木町岩城494 TEL:0966-61-2222 www.tsunagi-art.jp

企画：楠本智郎 t.kusumoto@tsunagi-art.jp 広報：桜場啓子 press@tsunagi-art.jp



《橋からの眺め》熊本 2023年 作家蔵



《フェンスのある風景Ⅱ》沖縄 2018年 作家蔵